

白川町発達支援連携協議会

保育園・小学校・中学校

保育園発達支援部会

- ・部員
保育園職員、こども発達支援教室職員、小学校職員、教育委員会職員、保健師、中濃圏域発達障がい支援センター職員
- ・部員はCLM（チェックリスト in 三重）を用いて園児の様子を観察します。観察後は保育士がよりよい支援をするために個別の指導計画を立案します。
- ・経過は小学校へ引き継ぎます。



保育園での発達支援部会

小学校教育支援部会

- ・部員
小学校職員、中学校職員、教育委員会職員、保育園職員、こども発達支援教室職員、保健師、専門アドバイザー
- ・部員は授業参観を行い児童の様子を観察します。また、個別の教育支援計画等を用いて就学についても検討します。
- ・経過は中学校へ引き継ぎます。



小学校での教育支援部会

全体会

- ・子どもの発達支援に関する研修会や講演会を企画し、保育園、小・中学校の職員が参加します。
- ・学齢児童生徒の適正な就学について検討します。



通級指導教室の研修



CLMの研修

ケース会議・特別支援教育コーディネーター部会

ケース会議では専門機関と連携を図りながら、特別な支援が必要な子どもに適切な支援ができるよう検討します。また、特別支援教育コーディネーター部会では、小・中学校のコーディネーターが実践交流や研修を行い、指導力の向上に努めています。

「個別の教育支援計画」と支援の引継ぎ

白川町では特別な支援を必要とする子どもに対して、保護者と学校や関係機関が連携し、「個別の教育支援計画」を作成しています。さらにその支援計画は、進級、進学と共に引き継ぎ、支援を途切れさせないように取り組んでいます。詳しくは小・中学校、または教育委員会にご相談ください。